



## 令和6年度 第2回医療安全研修会について

令和6年11月18日(月)16時45分から「令和6年度第2回医療安全研修会」が6階多目的ホールで開催されました。今回は外部講師として富山県氷見警察署警部補の富山史康先生をお招きし「院内暴力発生時の対応～さすまたの使用方法について」と題し、さすまたの実技演習を兼ねた研修と、セントラルメディカル(株)清水徹二先生による「医療ガス勉強会」を開催し、当日は74名の職員が参加されました。

「院内暴力発生時の対応～さすまたの使用方法について」では、さすまたの適切な持ち方や誘導方法の仕方、使用方法の注意点について、実技演習を行いながら詳しく説明されました。さすまたの設置場所や使用方法等を確認することができ、事件発生時にしっかりと対応していきたいとの声も聞かれました。

「医療ガス勉強会」では、地震や台風による被害事例や災害で起きる医療ガスのトラブル、医療ガス供給途絶時のバックアップ体制や対策について解説されました。停電や断水などの災害に備えた対応について振り返る機会となりました。  
中央臨床検査部 西岡さおり記



### 《さすまた実技演習》

さすまたの所在：防災センターに3本

- ※ さすまたは持ち手の後ろギリギリを持ち、長く使う
- ※ 狙い場所は、たすきにかけたり、太ももより上を狙う、顔近くへ向けて恐怖心を持たせる
- ※ 複数人(2名以上)で行う

## 3階東病棟の紹介

3階東病棟は、整形外科、歯科、内科(循環器、腎臓)の一般病棟と集中治療室がある病棟です。

3階東病棟では、患者さんに安全・安楽な入院生活を送っていただくために、月に1回から2回カンファレンスを行い、インシデント事例の報告を分析して、改善策を講じることで再発防止に努めています。また、スタッフに対する定期的な教育や訓練を行い安全対策遵守に取り組んでいます。

医療安全の向上は、患者さんの信頼を得るために不可欠です。活動を通して、より安全で質の高い医療を提供することを目指しています。

カンファレンスの様子



スタッフによるRCA分析を行っています

回覧													

## 栄養部～食物アレルギーへの取り組みについて～

食物アレルギーのある人は近年増加傾向にあると言われており、当院にも様々な食物アレルギーのある患者さんが入院してきます。現在は、疾患などに合わせた病院食は1日約450食以上提供しており、提供される食事も様々です。そのような環境の中で、安全な病院食を提供するためには念入りの確認が必要です。栄養部では、初回の食事が提供されるまでに、医師、



食事点検の様子

看護師等からのアレルギー情報の確認、患者さん又は家族などへの詳しい内容の聴き取り、給食オーダーの確認・修正をしています。厨房でも、給食会社の協力のもと、食物アレルギーに対する対象食品ダブル点検などの工夫をしています。令和6年10月から、入院前（予約入院の方）の面談に管理栄養士も加わり、より迅速かつ正確に把握・対応できるようになりました。

今後も、安全な食事提供ができるよう努めていきます。

栄養部 松波 俊弥記

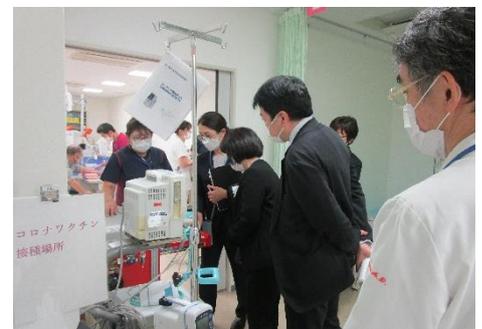
## 令和6年度 私立医科大学協会相互ラウンド 受審報告

令和6年11月11日（月）12：30から令和6年度私立医科大学協会相互ラウンドが、当院において開催されました。このラウンドは、医療事故発生防止や感染対策向上を図るため、第三者的視点から検証を実施し、医療安全・感染対策の強化、改善につなげることで、病院間のコミュニケーションおよび情報の共有を図り、双方が医療事故や感染防止の創意工夫を学ぶために毎年実施されています。

当日は、日本大学病院から医療安全部門は医師、薬剤師、臨床工学技士、看護師、事務員の6名、感染対策部門は医師、薬剤師、臨床検査技師、看護師の5名の合計11名が訪問し、書類審査および院内ラウンドを実施、評価をされました。

医療安全部門の総評では、「インシデント0レベルが3段階に分かれ、小さなことから報告する体制ができています」「SMG会で各部門から医療安全活動報告を発表され、その中で良い取り組みを表彰しフィードバックがされている」等の評価をいただき、また「医療機器の計画的な更新」についてご意見をいただきました。今回の評価を参考に、さらなる改善をすすめていきます。

総務課 森本亜弓記



院内ラウンド（中央処置室）

### -医療安全情報-

☆医療安全研修は、**全職員が年2回の受講**が必須です。動画研修は速やかに受講をお願いします。

☆インシデントは0レベルからの報告をお願いします。

**疑義紹介、インシデントの防止、発見者から等** まだ報告できるものがあります。